



# 根堀台だより

平成29年9月22日

第 56 号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

## 明日から頑張れ 秋季大会壮行会



2年生が先頭で入場！



生徒会の熱いエール



全校一丸となって壮行会

9月21日(木)の放課後、体育館で23日から始まる「秋季大会」に向けて「壮行会」を行いました。

今回の大会ではソフトボール部は矢島と本荘北中との合同チーム、ソフトテニス部と剣道部は個人戦のみという、それぞれが苦しい台所事情を抱えての大会参加となりますが、今自分たちの持てる力を出し切って頑張

ってほしいものです。

新キャプテンからは「油断せず、いつも通りのプレイをしてきたい。」「みんなで全力プレイで県大会に行きたい。」「声を掛け合い、一球一球を大切に伝統の粘り強いプレイを心がけたい。」「声を掛け合い、流れを引き寄せる戦いをしたい。」「声を出して盛り上げたい。」「一人一人力を出し切りたい。」と試合にかける思いを語ってくれました。

今回の壮行会では、引退した3年生がそれぞれの部活の後輩たちに激励の言葉を送りました。「まとまりのあるチ

ームになっているから、焦らずプレイすること。」「一球一球を大切に全力を出そう。」「人数が少ないからともかく、声を掛け合うこと。」「2年生がチームを引っ張れ。」「練習成果を発揮しよう。」など、後輩の緊張を和らげて、自信をもって頑張れるような「温かな言葉」が沢山ありました。

また、生徒会執行部によるエールなどを通して、3年生不在で戦う初めての試合に臨む1・2年生に対し、「自分たちの分まで戦ってきてほしい」という3年生の気持ちや願いがしっかりと伝わる「壮行会」でした。

天気予報では、23・24日は「晴れマーク」です。秋晴れの青空のように清々しいプレイが各会場で見られることを祈っています。

保護者の皆様、応援や準備などご苦勞をおかけしますがよろしくお願ひします。

# 職場体験学習発表会 なりたい自分を後輩に



経験と想いを語る2年生



真剣に学ぶ1年生

9月20日(水)の6校時、2年生が夏季休業中に行った職場体験学習「なりたい自分を目指す14歳の挑戦！」の発表会を行いました。

これは毎年、異学年交流のひとつとして、1年生を対象に2年生が体験学習を通して学んだことを伝えることで、次年度の活動に対する理解と意欲を深める活動となっています。

また、1年生を聞き手とするためにできるだけ分かりやすく説明できるよう、プレゼンテーションを工夫するなど表現力の育成にもつながる学習といえます。

2年生の発表の中には「大量の窓ガラスを拭くのは面倒で手抜きしそうだったが、1枚1枚隅々まで拭くことができた。」「職場体験は自立するための特訓になった。」「仕事を任されたことで責任を強く感じた。」「積極的に嫌なことを避けないで頑張ることや物事を察して協力することの大切さを学んだ。」「大人の人に褒められて嬉しかった。」「やりきった達成感を感じることができた。」「大変なことほどやりきったときに達成感が大きいことが分かった。」「辛いことを乗り越えると嬉しかった。」「慣れない仕事だけれど勇気をもってやった。」「掃除も大切な仕事なんだと思った。」など、この職場体験を通しての2年生の成長がしっかり伺

われる感想が多く、大変感心しました。

2年生の感想を聞いた1年生からも沢山の質問や感想発表がありました。「どんな仕事でも挨拶と返事が大事なことが分かった。」「先輩たちから聞いた内容はこれからの日常生活に生かせることが多かった。」など、先輩の経験を通して「来年は自分たちが頑張る番だ。」という気持ちにつながったことだと思います。

「総合的な学習の時間」の発表として、これから1年生は小学6年生に発表する機会があります。今回の発表会で学んだことを是非生かしてほしいものです。

## 秋季大会中の「弾道ミサイル飛来」に係る対応について

大会開催中、「弾道ミサイル」に係る事案の発生が懸念されます。

本荘由利中体連からは種目・会場など異なることから各種目別に判断し、対応するように指示がありました。おそらく、各専門部から部活担当者に連絡が入り、部活担当者から保護者への周知となることと思います。

当日、事案発生の際には各会場での指示に速やかに従って行動して下さい。

なお、サッカー専門部の対応を例として紹介します。

Jアラートなど緊急情報が発信された場合は「避難行動マニュアル」に従い対応する。

- ・試合を直ちに中断し、部員を避難させる。他の活動中も同じ。
- ・保護者、観客にも避難を呼びかける。
- ・安全を確認後、活動を再開する。
- ・試合再開の際には、監督が部員全員の安否確認を行い、大会本部に報告する。